

花ちゃん・オー君・モンタ博士・フッタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく5

国立市立国立第七小学校

平成29年10月2日 NO.53 (453)



オー君 「NO.1は、^{かんさつ}観察する^{はな}花を決めたんですね。まん中がその^{はな}花ですね。」

花ちゃん 「NO.2は、^{かんさつ}観察しやすいように、まわりの^{はな}花をとってしまったのね。」

モンタ博士 「NO.3の^{はな}花びらがまだついているのがわかるかな。ブドウの^{なかま}仲間の^{はな}花は、すぐに^{はな}花びらが^お落ち^{こと}ちゃう^{おお}事が多いんだね。4本の^{ほん}本の^{つの}角のようなものはわかる？」

花ちゃん 「おしべですね。NO.3ではちゃんとあったのに、NO.4では、おしべも^お落ちてしまったということですね。」

モンタ博士 「そうだね。NO.3と4をよく^み見てごらん。何か^{なに}気がつかないかな。」

オー君 「^{りょうほう}両方とも^{みず}水のようなものがうきあがってますね。あ！これが^{みつ}蜜ですか。」

モンタ博士 「そのとおり。いろいろな^{むし}虫があちこちから、^{みつ}蜜をなめに^く来るんだね。」

花ちゃん 「モンタ^{はかせ}博士、おしべが^お落ちてしまったのはわかるけど、めしべはどこに？」

モンタ博士 「よーく^み見てごらん。まん中^{なか}に何か^{なに}あるね。」

花ちゃん 「わかった。まん中^{なか}の^{つの}角のようなものがめしべですね。少し^{すこ}ずつ^{じかん}時間がたつとめしべが^の伸びてくるんですね。」

モンタ博士 「そうだね。おしべが^{じゅく}熟^{とき}す時と、めしべが^{じゅく}熟^{とき}す時がちがうようになっているんだ。これはね、^{おな}同じ^{はな}花^{どうして}、^{じゅふん}受粉（じゅふん・・・おしべの^{かふん}花粉がめしべにつくこと）しないようするためなんだ。ちょっとむずかしかったかな。ところで、それから、ほかに^き気がつくことはないかな。」

オー君 「あれ！めしべの^た立っている^{ところ}所の^{いろ}色がどんどん^か変わっていくね。」

モンタ博士 「そうだね。これには、モンタ^{はかせ}博士もおどろいてしまったね。ある^{ほん}本にオレンジ色から^{いろ}ピンク色^{いろ}に変っていくと書いてあったけど、モンタ^{はかせ}博士が^{かんさつ}観察した^{とき}時には、オレンジがピンクになり、ピンクがまたオレンジになったんだ。^{ほん}本に書いてあったのは、ちょっとちがっていたんだ。^{ほんどう}本当はどうなるのだろうね。1つの^{はな}花だけでなく、たくさんの^{はな}花で^{かんさつ}観察したほうがいいかもしれないね。ともかく、^{じぶん}自分の^め目で^{たし}確かめることが^{たいせつ}大切だね。」

花ちゃん 「めしべの^{たい}台だけでなく、^{つの}とんがった^{はし}角のような^{きいろ}めしべそのものも、始めは^{しろ}黄色っぽかったのに、^{しろ}だんだんと白くなるんですね。」

オー君 「^{けいぞく}継続して^{かんさつ}観察すると^{たの}楽しいね。これからもいろいろと^{かんさつ}観察してみよう。」